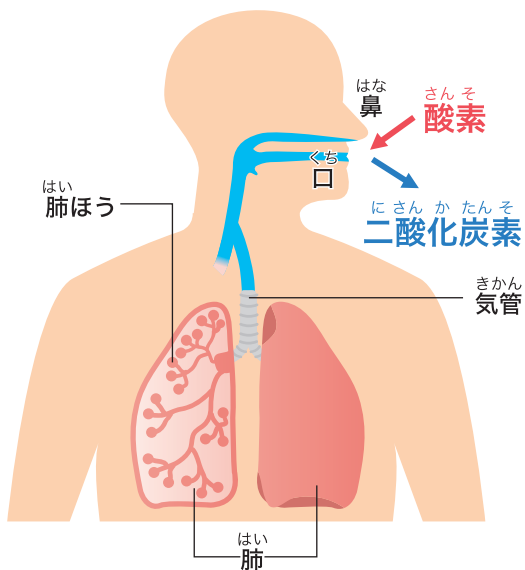




すたペンドリル 体のしくみ 2

肺(呼吸)のしくみ



呼吸とは

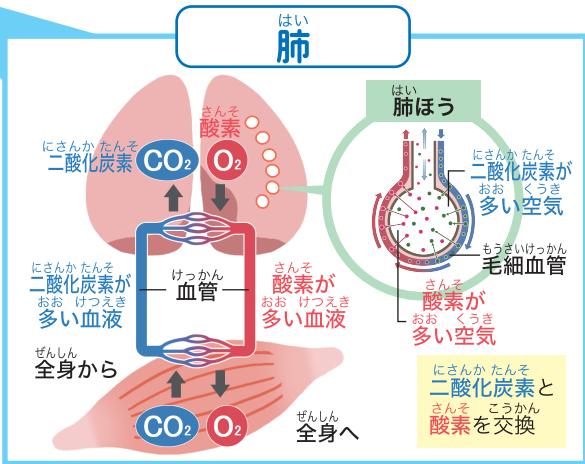
呼吸とは、空気や水中の酸素を体内に取り入れ、二酸化炭素を体の外に出すことです。

人の呼吸と肺

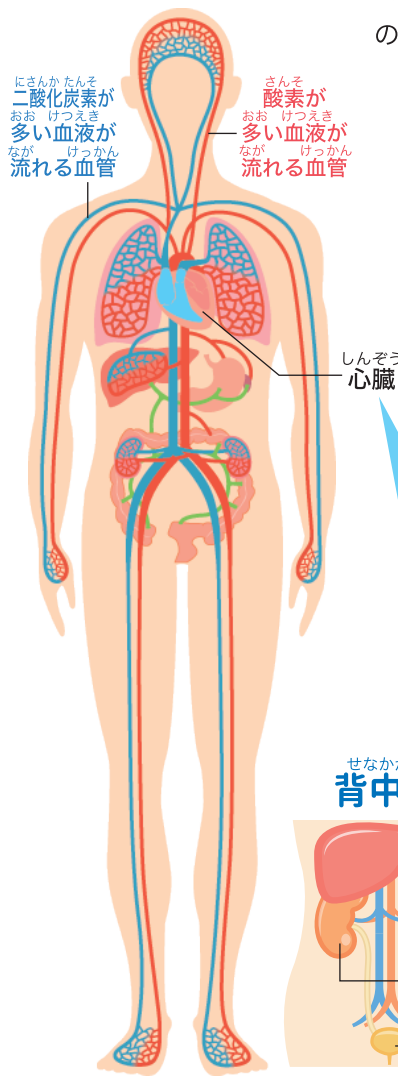
口や鼻から吸った空気は、気管をとおって肺に入ります。肺では、空気中の酸素と血液中の二酸化炭素を交換します。酸素をふくんだ血液は心臓をとおって全身へ送られ、二酸化炭素の入った空気は気管を通り、口や鼻からはき出されます。

肺のつくりとはたらき

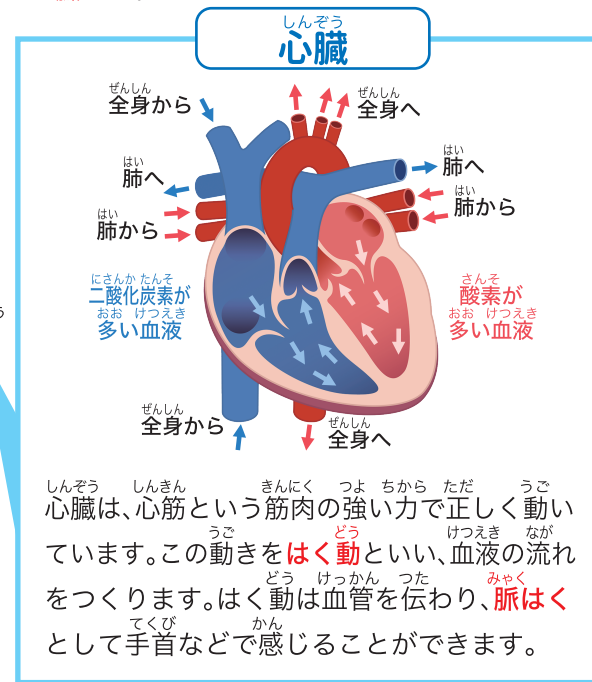
肺の中には肺ほうという小さなふくろのようなものがたくさんあります。肺ほうをとりまく毛細血管(細い血管)の中の血液から二酸化炭素が出され、酸素が取り込まれます。



心臓と血液

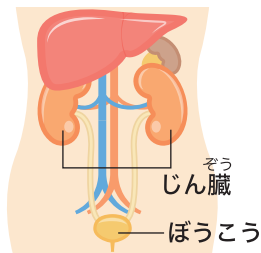


消化管で吸収した養分や肺でとり入れた酸素は、血管を流れる血液によって全身へと運ばれます。その血液を全身に送り出すポンプの役割をしているのが心臓です。



心臓は、心筋という筋肉の強い力で正しく動いています。この動きを「動く」といい、血液の流れをつくります。はく動は血管を伝わり、脈はくとして手首などで感じるすることができます。

背中側



じん臓

血液からいらぬものをとり除き、によをつくるのがじん臓です。によはぼうこうにためられて、体の外に出されます。